

平成23年7月8日

浜田市議会議長 牛尾博美様

議員名 芦谷英夫



## 調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため視察等を行ったので、その結果を報告します。

### 記

#### 1、期間

平成23年6月18日(土)～6月19日(日)

#### 2、視察先

広島県廿日市市吉和

#### 3、調査経費

交通費(燃料費) 8,855円

#### 4、調査研究活動の概要

別紙のとおり



## 西中国同和教育交流会に出席して

芦谷 英夫

広島県廿日市市吉和で開かれた西中国同和教育交流会に出席した。この中で「吉和中学校教育差別事件60年が問うもの」と題する講演があり、あらためて、同和問題の解決や人権教育の推進を進める必要性を再認識することができた。

吉和事件は、昭和27年吉和中学校で歴史科と社会科の時間に同和地区のことを取り上げ、そのことに端を発して同和地区の子どもが4日間の同盟休校に至り、事件の解決に向けた作業の中で同和行政や同和教育のあり方が問われたものである。

同和問題に対する政策は、昭和34年からの数次にわたる特別対策事業により環境の改善などの施策が進められ、特別対策の終結に伴い同和教育から人権教育への転換が図られている。同和問題の解決を人権教育の最重要の課題として教育や啓発を進めることとされている。

同和問題にかかわらず差別は、差別される側の問題ではなく差別する側の問題であることを認識する必要がある。寝た子を起こすな、そっとしておけば差別はなくなる、などの対処では差別を温存することになる。また同和問題にかかわらず差別意識は、自身のことであることを自覚する必要がある。

近ごろとくに行き過ぎた競争社会やストレス社会からか、世知辛い世の中、何かにつけ住みにくい地域社会、どことなく居心地の悪い日常生活などがあるとすれば、できることから改める必要がある。そのためにも自身の心の中から差別意識を無くすことがまず先決であり、このことについて政治や行政にかかわるものが率先して解決する努力が求められている。